

おしゃべりルーム*とす（令和元年議会報告会）

参加市民様からの主な意見・提言等に対する回答

※令和元年8月17日に開催しました、おしゃべりルーム*とす（令和元年議会報告会）で出されました、市民の皆様からの意見・提言等と、それに対する鳥栖市議会常任委員会での協議結果を記載しております。

（1）総務文教常任委員会

○新庁舎のユニバーサルデザイン化と市民駐車場の確保について

新市庁舎建設につきましては、2019年2月に取りまとめられました「鳥栖市新庁舎建設 基本設計」について3月から6月にかけて委員会にて協議を行ってまいりました。

新庁舎のユニバーサルデザイン化につきましては、基本方針2 誰もが利用しやすい庁舎の中に、ユニバーサルデザインに配慮した庁舎といった項目があり、ユニバーサルデザイン計画も現在作成中で、エレベーターにつきましては、音声案内・鏡・ガラス窓と車いす使用者や視覚障害者に配慮したものといたします。

火災や地震等の非常時の対応や避難設備については、火災時の出口を示す誘導灯設備については、視覚障害者・聴覚障害者でも音声とランプ点滅により、避難の方向を知らせるシステムを採用することとしています。

市民駐車場の確保につきましては、市民・職員の区分はありませんが、全体で現庁舎が440台、新庁舎が500台で、当初の計画から、庁舎西側入り口近くへの思いやり駐車場の確保、庁舎東側の車寄せ付近に駐車場を変更し、新庁舎は、より市民の皆様が利用しやすい駐車場となっています。

今後詳しい内容は、実施設計で明らかになってきますが、「防災拠点となる安全な庁舎」、「誰もが利用しやすい庁舎」、「機能的かつ経済的な庁舎」、「市民が親しみやすい庁舎」、「環境に配慮した庁舎」になるように、委員会としても協議をしてまいります。

○不登校児童生徒への支援の在り方について

不登校児童生徒数（30日以上欠席）につきましては、田代中学校に現地視察を行い、対応をお聞きしたところ、教育相談主任を不登校対策の中心に位置づけており、授業数の軽減や他の事務を持たせず、動きやすい環境を作ることで、鳥栖市学校適応指導教室「みらい」との意思の疎通、保護者相談への対応、小学校からの情報収集など行っています。

また学校外人材との連携として、スクールカウンセラーが年間240時間（1回/週 8時間）、スクールソーシャルワーカーには、重篤なケースを依頼し、医療機関、児童相談所、市役所など、管理職とともに連携を取っています。

さらに、別室登校生徒の対応として、これまで学年職員が交代で対応していましたが、7月から学校生活支援員の配置を受け、生徒との関係づくりに取り組んでいます。

今後も、委員会として他の学校の現状も調査し、保護者も含めた不登校児童生徒への手厚い支援を行っていただくよう、申し入れを行って参ります。

○放課後児童クラブの充実について

放課後児童クラブの待機児童数は、令和元年5月1日現在、1年生～3年生で20名、4年生～6年生で24名、合計44名となっています。

待機児童が解消しない要因としては、指導員の不足の問題があり、鳥栖市でも本年度から、放課後健全育成事業補助金を8,500万円に増額し、(平成30年度決算7,254万8千円)放課後児童支援員の賃金も増額し、待遇改善を図っていますが、待機児童の解消には至っていません。また、4年生～6年生も含めこれまで以上の人数を受け入れる場合も、施設の整備や確保が課題となってくると思われます。

委員会として、放課後児童クラブについては、更に充実を求めていく方向としては一致しましたが、委員からは、受益者負担の考え方から、現在の放課後児童クラブの利用料が適正かどうかの検討も、今後必要になってくるのではとの意見もありました。

(2) 建設経済常任委員会

○生活道路の安全対策について

生活道路の安全対策については、当委員会としても、市内における道路標識、防護柵設置の要望や道路区画線の修繕、歩道の整備など、安全上の課題があると認識しております。

この件については、今後も執行部に対し、迅速な対応を求めていくとともに、必要な予算の確保に努めるよう要請することを委員会として確認いたしました。

○豪雨による水害対策について

A. 豪雨による水害対策については、本市においても近年、雨季に限らず、過去にない豪雨により、市内のいたるところで災害が起こっております。

水害対策については、今後も頻発するおそれがあることから、一時的ではなく、長期的に耐え得る対策が求められております。

当委員会といたしましても、水害対策については、現状の調査、分析をはじめ、あらゆる状況を想定し、それに備えた対策を実施していくことを執行部に対し、委員会として確認いたしました。

(3) 厚生常任委員会

○子育て支援の充実（子育てマップ、病児保育）について

子育てマップにつきましては、若葉地区で民間サークルが行われているようなマップが、今後他地区でも同様に作成されていく見込みであることから、市執行部としても、今後も市のホームページ上に取り込んで、市民に対して情報提供を行う方針とのことでした。

当委員会としましては、この取り組みをよりよいものにしていくためにも、市執行部も民間サークルと連携してマップの作成や改正に当たること、市のホームページのリニューアルの際には、ホームページの子育て情報サイトへのアクセスが容易になるよう考慮することを進言いたしました。

また、病児保育につきましては、市執行部としては、他自治体や先進自治体の状況等を勘案しながら、実施に向けて取り組んでいきたいとのことでした。

当委員会としましては、その取り組みをさらに推進することを市執行部に対して要望していくとともに、今後、病後児保育、休日保育に関しても当委員会で協議を行っていくことの見解の一致を見ました。

○がん検診の充実について

市執行部からは、まず、がん検診の近隣自治体の近年の実施状況や受診率の説明を受けました。また、1日で全てのがん検診が受けられる受診日をふやし、

待ち時間を少なくするような工夫を行い、ウェブ予約への対応を来年度から行うなど、受診率向上の取り組みを強化していていることの報告を受けました。

当委員会としては、そのような取り組みを評価する一方で、市執行部に対し、さらなるがん検診の受診率向上のためにも、がん検診を他自治体に先駆けて無料としていることのPRを強化すること、がん検診の受診が、がんの早期発見につながった体験談等をチラシに載せるなど、引き続き市民の視覚に訴えかけるような工夫を行うことを要望しました。

○体育施設の整備計画について

当委員会としては、今回、体育施設の整備計画のなかでも、市民体育館の空調の今後の改修計画、市陸上競技場の今後の改修計画、野球場の不足に関しての今後の考え方、以上3つに絞って協議を行いました。

市執行部からは、市民体育館に関しては、外壁や屋根、照明、トイレ、更衣室、空調などを令和3年度以降、令和5年度に行われる国民スポーツ大会に合わせて改修予定であること、陸上競技場は、4年後までにトラックの全天候舗装への改修と、フィールドの芝ピッチの切り下げを行う予定であること、野球場の不足に関しては、専用球場か多目的広場なのかという議論も行いつつ、土地と財源の確保を検討していきたいとの説明がありました。

当委員会としては、市執行部に対し、体育施設の整備に関しては、国、県への要望を強化していくことを進言いたしました。

また、年々利用できる野球場が減っていく中で、国道3号拡幅に伴っての基里運動広場の利用停止は避けるよう、引き続き国との交渉を行うこと、野

球場の不足解消の情報があれば、速やかに当委員会へも情報提供を行うことを要望いたしました。